

リサイクル燃料備蓄センター建設に係る 環境保全への取り組み状況について



平成24年3月

環境保全への取り組み

当社は、平成 20 年 3 月より、「リサイクル燃料備蓄センター」の準備工事を進めており、現在のところ、順調に進捗しております。

工事の実施に際し、自主的に環境影響評価を実施することとし、環境調査計画立案の段階から専門家や行政機関の助言を頂き、環境影響評価及び保全策等を報告書に取りまとめております（平成 20 年 3 月取りまとめ）。

今回、平成 23 年度の「環境監視」結果について報告するとともに、併せて実施した環境保全への取り組みについてご報告させていただきます。

「環境監視」結果

1. 概要

表1に示すとおり、水質・陸生生物・生態系について工事中の環境監視を実施しました。

表1 環境監視項目

区 分	工事中	供用開始後
水質	○	—
陸生生物	○	○
生態系	○	○

注)「リサイクル燃料備蓄センター建設に係る環境影響評価報告書(概要)」について 平成 20 年3月」より抜粋

その結果、土砂の流出による河川の水質の変化は確認されませんでした。

また、工事エリア周辺を踏査したところ、動物の生息基盤となる植生の変化も確認されませんでした。

以上のことから、周辺環境への影響はほとんどないものと推察されました。

2. 項目別の結果

(1)水質

工事中の排水を放流している河川における浮遊物質量は、工事エリアの上流側、下流側ともに、雨が降ると一時的に高濃度となりますが、通常は10mg/l以下で推移しており、排水による影響はほとんどないことが確認されました。

(2) 陸生生物

1) 動物

重要な昆虫類であるマイコアカネ・エゾゲンゴロウモドキ・ゴマシジミ等の生息が、調査時と同様に確認されました。さらに、一般種であるオオルリボシヤンマ・イチモンジセセリ等も確認されました。

また、準備工事エリア周辺の植生変化や、美付川の水辺環境にもほとんど変化がないことから、動物の生息環境に変化はないものと推察されました。

このように、準備工事エリア周辺で保全対象種の生息状況やその生息環境が良好に保たれていることは、環境保全措置の一環として進めているビオトープづくりにも、重要なことと考えております。



周辺地域で確認された重要な昆虫類

上：マイコアカネ

下：ゴマシジミ

2) 植物

工事エリア内に生育が確認され、平成 19 年に移植したノダイオウ・ミチノクサイシン・ノウルシ・オオニガナ及び平成 20 年に移植したエビネの合計5種の重要な植物については、生育状況は概ね良好でした。



ノウルシ



エビネ



ミチノクサイシン

(3) 生態系

周辺を踏査したところ、動物の生息基盤となる植生の変化がなかったことから、生態系への影響はほとんどないものと推察されました。

その他の環境保全への取り組み

1. ミズナラ林の復元

(1) 草本類による法面の早期緑化

現地で採取した草本類の種子が入った植生マットを、平成 21 年春に切土法面に敷設して3シーズンが経過しました。

1シーズン目に優占していたコブナグサやキンエノコロなどの一年生草本に変わって、2シーズン目からは越年生草本のコウゾリナが優占するようになり、モンシロチョウやモンキチョウなども花に吸蜜に訪れています。3シーズン目はさらにエゾミソハギ、アカバナなどの花も目立つようになってきました。一方、周辺部から飛来した種子によってオノエヤナギ、オオヨモギ、ブタナ、フキなど、好ましくない種類も増えてきており、これらの種類については除根するなどの管理を行っています。



増えてきたアカバナ

(2) ミズナラ林を構成する木本類の植栽

現地において種子を採取して育てたミズナラ林を構成する木本類の苗木(ミズナラ・クリ・ホオノキ・ウワミズザクラ・ガマズミなど)を、平成 22 年春に植栽しました。

現在、2シーズンが経過し、順調に育っています。



法面に植栽したミズナラ
(植栽後2シーズン目の状況)



法面に植栽したホオノキ
(植栽後2シーズン目の状況)

2. ビオトープの整備

ビオトープ整備に向けて、現地の水みちを活かした小さな池をつくってから3年が経ちました。

整備されたビオトープエリアではこの間に、重要な昆虫類(ハグロトンボ・ショウジョウトンボ・ハラビロトンボ・ゲンゴロウ・オオルリハムシ・ゴマシジミ・ヒョウモンチョウなど)16種類や、トウホクサンショウウオなども確認されました。また、重要な植物であるイトモ・ミクリ・イチョウウキゴケなども造成池や水路で生育が認められました。

多くの動物類にとって、より好適な環境となるように、ヨシやカサスゲ、イなどの選択刈りや、チョウ類の吸蜜植物になるような植物を少しずつ増やすなど、順応的な整備を進めています。



ビオトープの状況



全域で開花するようになったミズギク



ヒョウモンチョウ



オオルリハムシ



イチョウウキゴケ



トウホクサンショウウオ